

中小企業の IT経営革命

経営基盤を強化するインターネット活用法

ジャーナリスト

木村太郎&
日本工業新聞社
ITセンター編著



日本工業新聞社

「IT導入への取り組みは強々で、日本工業新聞に、経営、現場へと積極的にITを導入し、事業拡大を図ろうとする中小企業を取材。その成果と考え方を掲載してきた。」
連載にあたっては、ネットワーク構成や導入機器など技術的な紹介を避け、主にIT導入にかける基本的な考え方と具体的な成果にポイントを置いた。多様な考え方を取り上げる方が、IT導入を検討する中小企業にプラスになるという判断からだ。
今回の出版化にあたり、より具体的な取り組みがわかるよう加筆した。

◎事例1 田中金属「ITで安定した品質を維持」



田中幸雄社長

〈会社データ〉▽主要業務〓精密板金業▽設立〓一九八七年一〇月
▽資本金〓五百万円▽代表者〓田中幸雄社長▽社員数〓四人▽売上
高〓一億一千万円(一九九年七月期実績)▽所在地〓千葉県市川市塩
浜三〇二七〇〇一〇四七・三九五・六三〇〇▽アドレス〓yukio
@tanaka-kinzoku.co.jp

経営者の多くは事業拡大を目指す。規模が小さく経営基盤が不安定な中小企業には、生き残るため一定の規模を確保したいとする考えが一般的。だが、製造業には多大な設備投資が必要で、会社を大きくしたいとする行動が、逆に経営を圧迫した事例は数多い。

精密板金加工を主要業務とする田中金属は、社長以下五人の家族的な企業。二代目となる田中幸雄社長は、規模の大きさを求めず、質の拡充こそ基本とする「こだわり」の経営に徹する。「積極投資はギャンブルと同じです。小さいままでも会社の充実を優先させる」と強調する。その一環として、田中社長は経営にITを取り入れ成果を出している。